

先日は、手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。観察会のレポートを作成しましたのでご覧ください。次回1月の「てがたん」は1月10日(土)で、「冬鳥観察」がテーマです。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

\*市民スタッフの方々へ 次回のとがたん下見&打ち合わせは1月4日(日)です。よろしくお願いいたします。

## 12月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→香取神社（紅葉と木の実の解説）→手賀沼遊歩道（野鳥観察）→鳥の博物館
- 観察日時/天気 2008年12月13日(土) / 晴れ
- 参加者 21名（一般16名 子ども5名）
- スタッフ 7名（青木義尚、石原直子、伊東茂子、木村稔、小泉伸夫、中井清子、弘實さと子、古川克彌、松村定雄、保田行弘、湯瀬一栄、吉田一博）
- 鳥博職員 3名（岡廣志、斉藤安行、村松和行）

### 観察記録 — 12月に観察した生き物リスト—

#### 【鳥類】

カイツブリ科：カイツブリ、ハジロカイツブリ、カンムリカイツブリ/ウ科：カワウ/サギ科：ダイサギ、コサギ  
 カモ科：カルガモ、コガモ、オナガガモ、ミコアイサ/クイナ科：オオバン/チドリ科：イソシギ/カモメ科：ユリ  
 カモメ/ハト科：キジバト/カワセミ科：カワセミ（声）/セキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイ/ヒヨドリ  
 科：ヒヨドリ/モズ科：モズ/ツグミ科：シロハラ（声）、ツグミ/ウグイス科：ウグイス（声）/シジュウカラ科：  
 シジュウカラ/メジロ科：メジロ/ホオジロ科：ホオジロ、アオジ/アトリ科：カワラヒワ、シメ/ハタオリドリ科：  
 スズメ/ムクドリ科：ムクドリ/カラス科：カケス（声）ハシボソガラス、ハシブトガラス

アカガエル科：ウシガエル（声）

#### 【両生類・魚類・甲殻類】

【昆虫・クモ】 [サシガメの仲間] ヨコヅナサシガメの幼虫 [イラガの仲間] イラガのマユ（種不明）

#### 【花】

キク科：セイヨウタンポポ、ハキダメギク、ノボロギク、コセンダングサ、セイトカアワダチソウ/シソ科：ホトケ  
 ノザ/アブラナ科：タネツケバナ、スカシタゴボウ/ツバキ科：サザンカ（園芸種）

#### 【落ち葉や木の実】

ニレ科：エノキ、ムクノキ、ケヤキ/ブナ科：シラカシ、アカガシ、/カエデ科：イロハモミジ/ウリ科：カラスウリ  
 /ミカン科：サンショウ/クワ科：ヤマグワ/クスノキ科：クスノキ、シロダモ/アケビ科：ムベ/ヤブコウジ科：ヤ  
 ブコウジ、マンリョウ/センリョウ科：センリョウ/イチヨウ科：イチヨウ/ブドウ科：ツタ

# 12月の観察アルバム



今回のてがたんのテーマは「落ち葉と木の実を探そう」でした。紅葉や黄葉になる仕組みやドングリの見分け方など、盛りだくさんの内容でした。手賀沼に冬鳥がたくさん見られるようになりました。次回のもてがたんでも、たくさんの鳥が見られると思います。お楽しみに！



今回の案内人  
弘貴さんと子さん



① 冬らしい観察会風景



② イチヨウについてのキクラゲ



③ 市民スタッフ  
古川さん

### ツタの落葉のお話

ブドウ科の植物は、落葉する時葉が先に落ちて後から葉柄が落ちることが多い。



④

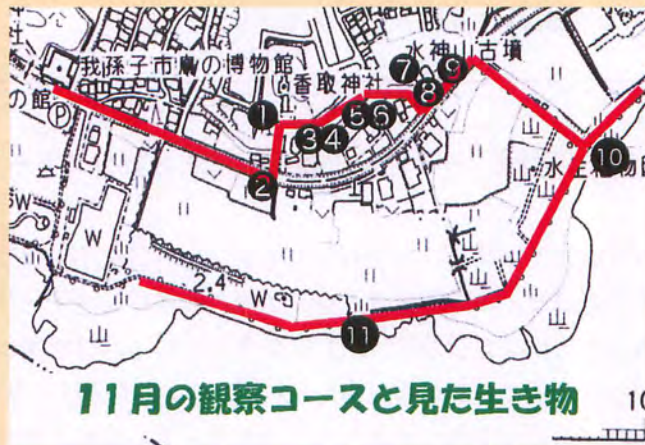
葉に紙をのせて簡単写生！



紅葉の色であるアントシアンは日光にあたることで生成される。

日光があたらなかった部分は赤くならず、黄味をおびる。

⑧ サクラの紅葉



### 11月の観察コースと見た生き物



⑪ 寄生蜂に寄生されたチョウまたはガの幼虫の死がい



⑩ ミコアイサメがいました



⑨ 朽木についたカワラタケ



⑦ 立派なサザンカの花



⑥ サルトリイバラの果実



←殻斗に毛がなく、輪が6段重なるお椀型をしている。

⑤ シラカシ



殻斗に毛があり、輪が7~10段重なる椀型をしている。

アカガシ

てがたんコースにはドングリがなる木は2種ありました。

### 樹木の実生



ヒサカキ



スギ



ムクノキ



シラカシ

### 赤い実がなる樹



①



②



③

- ①マンリョウ (万両)  
ヤブコウジ科  
高さ 30~100cm
- ②センリョウ (千両)  
センリョウ科  
高さ 50~80cm
- ③ヤブコウジ (十両)  
ヤブコウジ科  
高さ 10~20cm

### ぞくぞくと飛来する冬鳥



カンムリカイツブリ



ハジロカイツブリ



シロハラ